

jsaa news

JAPAN SHIRTS APPAREL ASSOCIATION

編集・発行 (協)日本シャツアパレル協会

〒130-0026 東京都墨田区両国2-17-4 (小池事務所 1階) Tel 03(3631)9443(代) Fax 03(3631)9441
 大阪支部 〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7 (船場センタービル 7号館2階 太陽繊維(株)内) Tel 06(4708)8119(代) Fax 06(4708)8139
 名古屋支部 〒460-0003 名古屋市中区錦1-13-31 (ミツビル2階 ミツフ(株)内) Tel 052(202)1151(代) Fax 052(202)1152

「シャツの日」は、毎年10月第一日曜日です

日本シャツアパレル協会は、この度「シャツの日」特別企画として、「ワイシャツ診断」を実施し、応募いただいた方の中から抽選で10名の方に「ワイシャツ」と小冊子「シャツの知識」をプレゼント致します。詳しくは、ホームページ・Instagramをご覧ください。

URL : <https://kk-jsaa.jp>



[当組合について](#)
[組合員一覧](#)
[組合の歴史](#)
[組合の活動紹介](#)
[シャツの日](#)
[シャツの知識](#)
[お問い合わせ](#)

「シャツの日」
特別企画
Special

WHICH ONE DO YOU CHOOSE?

あなたに似合うシャツ見つけます!

ワイシャツ診断

診断スタート ▶



What is Shirt's Day?





DID YOU KNOW?

毎年10月第一日曜日は、「シャツの日」

日本人が初めてシャツの製造を開始したのは、明治10年10月のこと。
 ミシンの輸入業を営んでいた横浜井天町、大和屋の主、石川清左衛門が
 シャツ専門店に転業、国産シャツの製造に乗り出した。
 同じころ、東京芝の野村辰二郎も独自にシャツ製造に着手した。

当時は、日本の洋装の歴史は黎明期で、シャツづくりもまったくゼロから出発。
 外人の着ていたシャツを分解し、仕立て方を研究したとのこと。

日本人によって、初めてワイシャツが作られた明治10年10月にちなんで、
 日本ワイシャツ組合連合会(現:日本シャツアパレル協会)では、
 昭和54年から毎年10月の第一日曜日を「シャツの日」と定めて、
 様々なキャンペーンを展開し、現在に至っている。

「繊維製品の形態安定性に係る画像解析試験方法に関するJIS開発」 今年度の実施計画

1. 全体の事業目的

我が国の繊維製品は、高機能化・高品質化により製品の差別化、競争力強化を図っており、特に我が国高機能繊維製品の中でもワイシャツ市場において、形態安定シャツは、8割のシェアにまで拡大しており、その特性評価が極めて重要なものとなっている。

一方、形態安定シャツの性能評価については現在、洗濯前と洗濯後におけるしわの状態変化を試験員が目視で判定することが多く、結果にバラツキが生じることがある。また、目視による試験判定は、試験の多様化・高度化に加えて技術の練度向上・伝承の難しさ、試験員の確保の難しさ等の問題が生じている。

このため、本事業は、目視により評価・判定している現在の試験方法に代わり、シャツ生地の手洗前後の画像をデータ化して、しわの状態を解析・判定する技術を開発し、試験員の目視判定と同様な試験方法（以下、「しわ画像解析試験方法」という。）としてJISの原案1件を作成し提出を図るものである。

2. 本年度の事業目標

本年度は、3年事業の最終年度として、前年度に開発したしわ画像解析試験方法のJIS素案をもとに、信頼ある標準的試験方法の確立のため、試料に対する画像読み取りの精度向上等に関して検討し手順の見直しを図る。また、JIS原案における適用範囲の検討とともに画像解析判定と目視判定との整合性について整理し、JIS原案をとりまとめることを目標とする。

3. 本年度の事業内容及び実施方法

(1) 委員会

① 標準化委員会

『第1回標準化委員会』は、7月頃に開催し、本年度事業の内容・スケジュール等を関係者で共有するとともに、『技術分科会』で検討する技術課題等を整理し、本事業を適切に推進する。また、『第2回標準化委員会』は、1月頃に開催し、『技術分科会』で整理された、しわ画像解析試験方法のJIS原案について検討し、とりまとめる。

② 技術分科会

『第1回技術分科会』は8月頃に開催し、前年度にとりまとめたしわ画像解析試験方法のJIS素案をもとに、精度向上に向けた手順の見直し等について検討する。また、『第2回技術分科会』は12月頃に開催し、手順の精度等を実施して信頼あるJIS原案を作成する。

(2) しわ画像解析試験方法の標準開発

① 試料に対する画像読み取りの精度向上

本年度は、前年度に開発したしわ画像解析試験方法のJIS素案において、試料の画像読み取り精度向上のため、試料の画像読み取り装置への適切な取り扱いの精査、手順の見直し等について検討し、JIS原案に反映する。

② 遮光カバーに関する形状・寸法

しわ画像解析試験方法においては遮光カバーを必要とすることから、遮光カバーを用いる際の形状・方法等について検討し、JIS原案に反映する。

③ JIS原案における適用範囲等

しわ画像解析試験方法における適切な適用範囲を検討し、また、画像解析判定と目視判定の整合性について整理し、信頼あるJIS原案を作成する。

「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するJIS開発」 今年度の実施計画

1. 全体の事業目的

繊維製品の洗濯等の取扱いに関する表示記号及び表示方法を規定したJIS L 0001は、対応国際規格であるISO 3758 (Textiles-Care labelling code using symbols) との整合化を目的として2014年に制定された。また、JIS L 0001は、「家庭用品品質表示法」等に引用され、生産・流通事業者はじめ一般消費者等へ大きく影響するものとなっており、適宜適切な見直しが必要とされている。

このような中、諸外国の要請によりISO/TC38/WG12においてISO 3758が改訂されることとなり、繊維製品の生産及び流通のグローバル化に対応するため、JIS L 0001の早急な見直しが求められている。

2. 本年度の事業目標

本年度は、3年事業の終最年度にあたり、ISO 3758の改訂内容を確認しつつ、前年度に作成したJIS素案をもとに、既にJIS L 0001改正内容を検討した新規洗濯溶剤等を除き、アイロン仕上げ処理記号の新規追加及び内容変更、洗濯処理記号の変更内容等を分析し、国内における洗濯等の取扱実態を踏まえつつ、JIS L 0001における改正項目等を検討する。JIS L 0001の改正に関して、必要な検証試験を国内関係機関で実施して洗濯時における繊維製品への影響等を検証・整理し、JIS L 0001改正原案をとりまとめることを目標とする。また、JIS L 0001において引用する関連企画JIS L 1930改正原案をとりまとめることも目標とする。

3. 本年度の事業内容及び実施方法

(1) 委員会

① 標準化委員会

JIS L 0001の改正は、幅広い関係者の理解を得て適切に実施される内容とすることが重要であることから、『標準化委員会』は、JIS L 0001の表示に基づき繊維製品を取り扱うメーカー、販売・流通事業者、試験機関、消費者及びクリーニング事業者等から構成し、第1回『標準化委員会』を8月頃に開催し、本年度の事業内容・方向性及びスケジュール等を共有・検討するとともに『技術分科会』で検討する課題と対応の方向性を整理し、本事業を適切に推進する。また、第2回『標準化委員会』は、1月頃に開催し、『技術分科会』等で整理したJIS L 0001改正原案及びJIS L 1930改正原案について検討し、とりまとめる。

② 技術分科会

『技術分科会』は、JIS L 0001の改正における技術的検討を行うため、技術的知見を有するメーカー、販売・流通事業者、試験機関及びクリーニング事業者等から構成し、第1回『技術分科会』は、7月頃に開催し、ISO/TC38/WG12におけるISO 3758改訂動向及びそれに対する事前の検討を踏まえて、JIS L 0001改正に向けた課題と対応の方向性を検討してJIS原案を整理する。また、第2回『技術分科会』は、12月頃に開催し、JIS L 0001及びJIS L 1930改正内容をとりまとめてJIS原案を作成する。

(2) JIS L 0001改正内容の検討

令和4年度は、ISO 3758の改訂内容より、適用範囲、洗濯処理、アイロン仕上げ処理、商業クリーニング処理、表示記号の表示例含めた記号の適用及び使用等について、国内事情を踏まえた適切なJIS L 0001の改正内容について検討・整理するとともに、附属書等における適切な引用規程等についても検討・整理して、JIS L 0001の改正原案を作成する。

(3) JIS L 1930の改正内容の検討

令和4年度は、ISO 3758における家庭用洗濯試験方法に関する引用規格ISO 6330の改訂内容を踏まえ、JIS L 1930附属書のC形洗濯機（パルセータ式）の洗濯方法仕様書等の改正内容について検討・整理し、JIS L 1930の改正原案を作成する。

会議要旨

＜7月度委員会＞

- (1) 「夏シャツの日」 広告結果について
 - ① 「夏シャツの日」 広告結果について、広告会社より説明が行われた。
また、メディア掲載結果についても、担当委員より説明が行われた。
 - ② 広告会社より、今後のモデル対応について、AIモデルを活用する提案があり、説明を受けた。
- (2) 「シャツの日」 について
 - ① 10月の第一日曜日 (10/2) 「シャツの日」 広告について、討議した。
方法としては、今回同様、協会ホームページ・インスタグラムで実施し、具体的な内容については、次回の委員会で検討することとした。

＜7月度役員会＞

- (1) 第69回通常総会報告
理事長より、第69回通常総会につき報告が行われ、詳細については、事務局長より説明が行われた。
- (2) 秋季ゴルフ大会について
秋季ゴルフ大会について、東京地区は10月13日 (木) ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部、大阪地区は11月10日 (木) 伏尾ゴルフ倶楽部を予定で進めることとした。
- (3) 「夏シャツの日」 の件
事務局長より、「夏シャツの日」 広告結果について、説明が行われた。
- (4) 「シャツの日」 の件
事務局長より、10月の第一日曜日 (10/2) 「シャツの日」 広告について、7/5委員会で意見交換した結果を報告、全員了承された。
- (4) 次回役員会日程
2022年10月12日 (水) 12時～
場所は第一ホテル両国会議室
- (5) その他
 - ① 夏期休暇について
夏期休暇については、8/11(木)～8/16(火) の提案があり、了承された。

- ② 来年度総会日程の件
来年度総会日程について、2023年5月23日 (火) に決定した。
- ③ KFCセミナーについて
国際ファッションセンター主催のセミナーについて、説明が行われた。
- ④ 新事務所について
事務局長より、現在建設中のマンション及びマンション内の新事務所について、説明が行われた。

＜8月度委員会＞

- (1) 「シャツの日」 について
広告会社より、「シャツの日」 訴求案について、説明が行われた。
また、予算については、「夏シャツの日」と同様程度の額とした。
その後、具体的広告案を検討。次回の委員会で詰めることとした。

＜8月度第2回委員会＞

- (1) 「シャツの日」 について
広告会社より、「シャツの日」 構成案のうち、A案・B案の説明を受け、全員一致でB案に決定した。決定後、詳細を討議し、次回の委員会までに反映させたものを作成し、次回の委員会で詰めることとした。

＜9月度委員会＞

- (1) 「シャツの日」 について
広告会社より、「シャツの日」 施策案の説明があり、また、今回の特別企画「ワイシャツ診断」 A案・B案の説明を受け、全員一致でA案に決定した。
また、「おすすめシャツ診断」 の具体的内容を討議した。

協会の動き (7～9月)

[7月]

- 1 J S A A ニュース315号発行
労働保険申告書提出
(向島労働基準監督署)
- 5 7月度委員会
(第一ホテル両国会議室)
- 12 7月度役員会
(第一ホテル両国会議室)
- 25 クリーニング業界基調講演
(オンライン参加)
- 27 繊維評価技術協議会
(形態安定画像解析に関するJIS開発)

[8月]

- 4 8月度委員会
(第一ホテル両国会議室)
- 9 繊維評価技術分科会
(形態安定画像解析に関するJIS開発)
- 11～16 夏期休暇
- 23 8月度第2回委員会
(第一ホテル両国会議室)
- 30 繊維評価技術協議会
(表示記号等に関するJIS開発)

[9月]

- 6～12 KFCトレンドセミナー
(国際ファッションセンター)
- 8 9月度委員会
(第一ホテル両国会議室)

お知らせコーナー

- ◎10月度役員会
日 時：10月12日 (水)
場 所：第一ホテル両国会議室
- ◎毎年10月の第一日曜日は「シャツの日」です。今年は2日です。
- ◎次号317号は、来年1月1日発行予定です。